

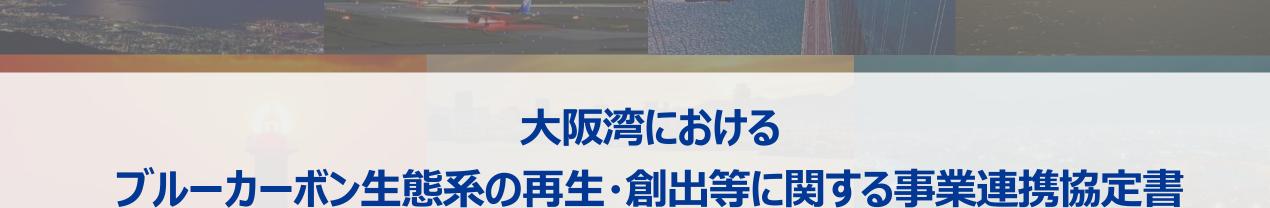
大阪湾における

ブルーカーボン生態系の再生・創出等に関する事業連携協定書



2023年8月3日







本協定の意義〔大阪湾MOBAリンク構想の実現をめざして〕

大阪府では、2025年に開催される大阪・関西万博を契機とし、

大阪湾をブルーカーボン生態系(藻場・干潟等)の回廊(コリドー)でつなぐこと『大阪湾MOBAリンク構想』をめざし、 民間企業等と連携して、湾奥部におけるブルーカーボン生態系の再生・創出に取り組んでいる。



2022年12月に設立した「海の保全と繁栄」の社会課題解決を目指す企業連合「一般社団法人ブルーオーシャン・イニシアチブ(BOI)」との事業連携協定によって、万博会場周辺を含めた大阪湾奥部における藻場の再生・創出をはじめとした海洋環境保全に係る課題を解決する。

本協定のコンセプト・取組方針

大阪・関西万博を契機として、

大阪湾におけるブルーカーボン生態系の再生・創出を加速するため、3つの"つなぐ"をテーマにした取組方針のもと BOIと連携して取り組み、生物多様性や気候変動等の地球規模の環境問題の解決に貢献する。

- **↑ 大阪湾MOBAリンク構想の実現に向けた関係者のネットワーク形成** ブルーカーボン生態系に関する技術、ノウハウ、取組意欲等を有する企業、民間団体、関係自治体等を "つなぐ"
- 2 ミッシングリンクとなっている大阪湾奥部における藻場の再生・創出 港湾エリアに藻場を創出し、大阪湾をブルーカーボン生態系のコリドー(回廊)で "つなぐ"
- 大阪湾の先行的な取組みを全国・世界に発信し、地球規模の環境問題の解決に貢献 大阪湾における海洋環境保全の取組み(ブルーカーボン生態系の再生・創出や海ごみ対策等)を見える化し、 万博会場等で効果的に情報発信し、大阪と世界の人を"つなぐ"

○ 1 大阪湾MOBAリンク構想の実現に向けた関係者のネットワーク形成

● 民間企業等の主体的な参画を促進するための取組み(マッチング、技術支援、情報収集・提供 など)

02 ミッシングリンクとなっている大阪湾奥部における藻場の再生・創出

- 全国・世界のスタートアップ企業などが有する藻場等の再生・創出に関する先進技術の掘り起こしと情報発信
- 企業等による湾奥部 (港湾域等) に適した先進技術を用いた藻場等の再生・創出モデル実証

し 大阪湾の先行的な取組みを全国・世界に発信し、地球規模の環境問題の解決に貢献

● 大阪・関西万博や関連イベント等において、大阪湾における海洋環境保全の取組み (ブルーカーボン生態系の再生・創出、先進技術の実証、 海ごみ対策、海洋環境教育等) について、様々な広報機関と連携して情報発信

第 1 期 (2023~2025年度)



第 2 期 (2026年度~)

- 大阪湾におけるブルーカーボン生態系の再生・ 創出に向けた関係者ネットワーク形成
- ・万博会場周辺における先進技術を用いた 藻場の再生・創出モデル事業の実施
- ・万博会場内外でモデル実証事業や関連の 取組みについて情報発信



 万博のインパクトを最大限に活かすことで、 ブルーカーボン生態系の認知度がさらに上がり、 新たな成長分野 (ブルーエコノミー) の糧になるなど、 大阪湾の藻場等の再生・創出の取組が加速







SDG s やカーボンニュートラル、 大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの達成に貢献